

5年 社会科	お米作りのひみつを探れ！～米作りの盛んな庄内平野～	5年②
目標	庄内平野では、地形や気候の特色、人々の努力や工夫が関連し合いながら、米作りがさかんに行われていることに気づくことができる。 (思考・判断・表現)	
使用したICT機器類・教具等	タブレット端末、大型テレビ、HDMIケーブル、ネットギア、指示棒、OHC	
思考ツール・プログラミング	Yチャート	

◆プログラミング的思考とのつながり

- ・Yチャートを用いることで、複数の資料や自分たちが行っている稲作と情報を関連づけて考え、課題についてより多面的・多角的な視点で追究することで、論理的思考力を高める。

◆授業の実際

1 一人調べやジグソー活動での班ごとの話し合いをもとに、みんなで話し合う。

- 庄内平野で米作りが盛んな理由について、根拠をもとに視点ごとに話し合いを行う中で、課題に対してより深い理解がなされていた。
- 視点ごとに分類して整理する中で、どの視点に当てはまるのか悩む姿が見られた。そこから、2つの視点に関連している事柄があること（JAに関する事柄）に気がつくなど、それぞれの視点が関連し合っていることを感じ始めた。



[タブレット端末を活用した資料の共有]

2 発表された意見の中で、どれが一番の理由なのかを問う。

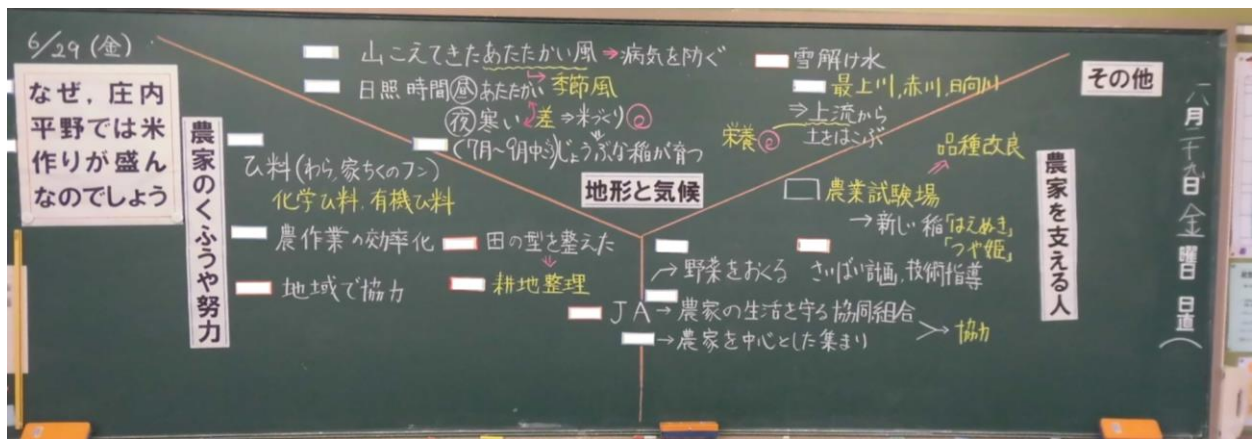
- 発表されたさまざまな理由から、どれが一番の理由かを尋ねられ、なかなか1つに決められず、「決まらないよ」と悩む姿が見られた。
- 悩む中で、どの視点も関連し合っており、どれも欠かすことができない要素であることに気がつくことができた。



[児童の意見をYチャートに整理し板書する]

3 今までの学習を生かして、単元を貫く課題「なぜ、庄内平野では米作りが盛んなのでしょうか？」に一人ずつ答える。

- それまで、庄内平野の米作りが盛んな理由について単一方向からしか考えられなかったが、多様な視点で、自分なりに考えることができていた。
- 学級全体で話し合いを行ったことで、一人調べやジグソー活動では、得られなかった情報も取り入れ、深まった考えによって課題に答える姿が見られた。



◆実践を通して

- ・課題に対しての切り口を三つの視点にして、Yチャートを活用してまとめたことで、複数の資料や情報を関連づけて考えていくことができた。本時は、黒板を活用し教師がYチャートでまとめていったが、子どもたち自身でYチャートを活用してまとめることができると、より論理的思考力を高めていくことができたのではないかと考える。

